

生命科学 (Life Science)					担当教員
					教授 長澤 一樹
					教授 後藤 直正
					講師 西田 健太郎
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	講師 開 章宏
専門基礎(講義)	1年次 前期	講義	1.5単位	必修	助教 林 直樹

【概要】

生物科学は自然科学の一領域として、自然現象のうちの生物に関するあらゆる事象を研究の対象とする学問であり、分類学、形態学、生態学、生理学、生化学、遺伝学、免疫学、発生学、分子生物学、微生物学などの種々の領域を含んでいる。近年、特に生命現象の分子レベルでの研究の進歩は生命の基礎部分のみならず、遺伝子操作によるバイオテクノロジーなどの、いわば応用部門においても著しいものがある。生命科学の講義では、広範囲におよぶ生物科学領域のうち、生物系専門科目の理解に必須となる細胞に焦点を絞り、基礎知識を修得できるよう解説する。

【授業の一般目標】

薬学を学ぶ上で必要な生命科学の基礎力を身につけるために、細胞構成成分、細胞、遺伝、情報伝達、エネルギー産生に関する基礎的知識、技能、態度を修得する。

【準備学習(予習・復習)】

学習項目に該当する教科書を読んだ上で講義に臨むこと。受講後は、教科書、ノートなどを活用し復習すること。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	生命科学序論・タンパク質	長澤一・開	タンパク質の構造と機能について説明できる。	C4-(1)-①-1 C6-(2)-③-1 C6-(2)-④-1 C6-(2)-⑤-1 C6-(3)-③-1 C6-(4)-③-1 C9-(3)-①-1,2,3 C9-(3)-②-1,4
2	DNA	開	核酸の構造とDNAの複製について説明できる。	C4-(1)-①-1 C6-(2)-③-1 C6-(2)-④-1 C6-(2)-⑤-1 C6-(3)-③-1 C6-(4)-③-1
3	遺伝子	長澤一	遺伝子について説明できる。	C6-(4)-①-1,2 C7-(1)-①-1
4	遺伝子	長澤一	セントラルドグマおよびDNAからRNAへの転写ならびにRNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。	C6-(4)-④-1,5
5	遺伝	長澤一	遺伝について説明できる。	C6-(4)-⑤-1 C6-(7)-①-2 C7-(1)-①-1
6	細胞の基本構造	西田	細胞膜および細胞内小器官の構造と機能について説明できる。	C6-(1)-①-1 C6-(1)-②-1 C6-(1)-③-1 C6-(2)-①-1 C6-(3)-①-1 C6-(6)-③-1,2 E4-(1)-①-1
7	細胞の基本構造	西田	細胞膜および細胞内小器官の構造と機能について説明できる。	C6-(1)-①-1 C6-(1)-②-1

				C6-(1)-③-1 C6-(2)-①-1 C6-(3)-①-1 C6-(6)-③-1,2 E4-(1)-①-1
8	ATP合成	林	細胞内エネルギー産生と代謝経路について概説できる。	C6-(2)-②-1,2 C6-(5)-①-1 C6-(5)-②-1,2,
9	ATP合成	林	細胞内エネルギー産生と代謝経路について概説できる。	C6-(2)-②-1,2 C6-(5)-①-1 C6-(2)-②-1,2
10	原核細胞1	後藤	細菌の基本構造を説明できる。原核生物と真核生物の違いを説明できる。細菌の進化・分類・形態について説明できる。	C8-(3)-1-1 C8-(3)-②-1 ☆ C6-(5)-②-1,2,3
11	原核細胞2	後藤	細菌細胞の特殊な構造を説明できる。	C8-(2)-②-2
12	原核細胞3	後藤	細菌の増殖のための栄養と環境因子について説明できる。	C8-(3)-②-3
13	原核細胞4	後藤	細菌ゲノムと遺伝子伝達現象を説明できる。	C8-(3)-②-4,5 ☆
14	原核細胞5	後藤	細菌ゲノムと遺伝子伝達現象を説明できる。	C8-(3)-②-4,5 ☆
15	総括・まとめ			

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	生命科学	東京大学生命科学教科書編集委員会 (編)	羊土社
参考書	生命科学—細菌編— 生物学入門 The Cell細胞の分子生物学	後藤直正 石川 統 中村・松原 (監訳)	京都廣川書店 東京化学同人 東京化学同人

【成績評価方法・基準】

原則として、定期試験で評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワー：月・水・金の17：00～19：00；授業内容に関する質問がある場合には研究室（愛学館6階）に直接来てください。E-mailでの質問にも返答します。ただし、PCからのメールを受信できる媒体から送信してください。その際、必ず氏名を明記すること。E-mailアドレス：長澤nagasawa@mb.kyoto-phu.ac.jp、西田nishidak@mb.kyoto-phu.ac.jp、後藤ngotoh@mb.kyoto-phu.ac.jp、林nhayashi@mb.kyoto-phu.ac.jp、開hiraki@mb.kyoto-phu.ac.jp。なお、出張等でオフィスアワーを持ってないときもありますので、メール等で前もって尋ねてください。